

**製品名: SNM1B ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab18057**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	60kDa

**抗原情報**

遺伝子名	DCLRE1B
別名	DCLRE1B; SNM1B; 5' exonuclease Apollo; DNA cross-link repair 1B protein; SNM1 homolog B; SNMIB; hSNM1B
遺伝子 ID	64858.0
SwissProt ID	Q9H816
免疫原	ヒト SNM1B の C 末端領域から得られた合成ペプチド。

**背景**

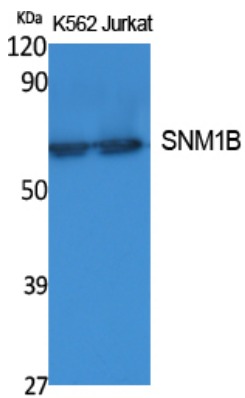
DNA 鎖間架橋は鎖の分離を防ぎ、DNA の転写、複製、分離を物理的に阻害します。DCLRE1B は、鎖間架橋の修復に関与する進化的

に保存された遺伝子の一つです (Dronkert et al., 2000 [PubMed 10848582])。[OMIM 提供、2008 年 3 月]機能: DNA 鎖間架橋の修復に必要となる可能性があります。PTM: DNA 損傷時にリン酸化されます。おそらく ATM または ATR によるものです。類似性: DNA 修復メタロ β ラクタマーゼ (DRMBL) ファミリーに属します。細胞内局在: 特定の場所に局在します。

## 研究分野

-

## 画像データ



SNM1B ポリクローナル抗体を使用した、K562、Jurkat 細胞からの抽出物のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈されました。